

エクストリームウィンターチャレンジ2007 信州高山大会

優勝チームコメント

いや〜んばか〜ん 清水 直樹 さん

ウィンターエクストリームシリーズへの参加はこの高山大会で4回目となりました。いつもは夫婦でクロスカントリースキーを使って参加していましたが、今回は嫁の都合がつかず、急遽パートナーをMTB仲間に変更して、男性チームとなりました。

スタート直前に地図の配布を受け、コースの途中で狭くて長い急登があることがわかったので、勝負に徹しようと、機材はスノーシューを選択しました。

ところで、クロカンスキーとスノーシューを比較すると、クロカンスキーは登り性能や機動性でスノーシューに劣りますが、下りのスピードと安楽性で勝ります。上位進出を狙わず、レースを楽しもうというのであれば、クロカンスキーは絶対にお勧めです。また、クロカンスキーの扱いは思ったより難しくありません。

さて、恒例の通り、スタートと同時にチームチャレンジです。広場の木々にくりつけてあるクイズに答えるのですが、ここで僕たちは最下位になってしまいました。

次にCP1からCP3までは好きな順に回ってCP4に向かいます。この前半戦はスキー場の下部を使ったため、順位のタイム差はあまりなかったのではないのでしょうか。とはいえ、僕たちはCP4に最初に到着し、2回目のチームチャレンジに挑みました。種目は「雪上ゴルフ」。テニスボールを5打以内で2〜30m先の目標の木にぶつけなければ、5分のペナルティが課せられます。しかし、何回打ってもボールは数メートルしか飛ばず、ペナルティを受けました。

CP4から6までは強烈なヒルクライムです。リフトを1本だけ使うことが許されたのですが、その先は手を雪面に刺したり笹につかまったりしなければスノーシューでは登れない急斜面がいくつもありました。僕たちは2位に5分以上の差をつけてゴールしなければ勝てないプレッシャーを受けながら、CP6のあるピークに登り詰めると、そこには北アルプスの大パノラマが待っていました。

ここから先はアドベンチャーダウンヒルでした。雪の沢を滑って下り、大雪原を駆け下り、CP7、8を通過し、ゲレンデを抜けてゴールに着きました。初優勝です。

3月には、桜枝岐で最終戦がありますが、そのときは夫婦のクロカンスキーチームに戻り、レースでなくウィンターエクストリームというゲームを楽しみたいと思います。